

# Book Mark

## 図書館で本を探す楽しみ

大学院経済学研究科長 上山 邦雄

今回、図書館からの原稿依頼を受けて、これまでの人生における図書館との関わりを考えてみた。私にとっては、小学校時代から大学生になるまでは、よく図書館で本を借りたものだ。特に中学生時代は、小説にはまっていて、一晩に一冊を読破していた。読み出すと話の後が気になって、毎日のように外が明るくなり始めるまでやめることができなかった。こういう読み方であるから、きちんと精読するのではなく、単にストーリーを追っかけていただけだと思う。図書館は私にとっては面白そうな本を探す場所であった。

大学院に入学して以降、研究者になってからは、こういった宝探しみたいな図書館の利用がないわけではない。しかし、多くの場合は、論文を書くための特定のテーマについて論じている本や論文、また資料を探す場所となった。そして、国会図書館をはじめ多くの図書館では、貸し出しをしないので、必要な箇所をコピーして帰るということを繰り返した。今にしてみると、原稿のために、毎日の

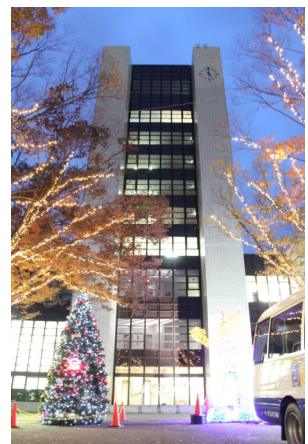
ように図書館に通ったことが懐かしい。

コピーで思い出すことは、大学院に入学した頃の1970年代の初め、年度の始めに、ロールのコピー用紙を何本か支給され、必要なコピーをとっていたことだ。必死に分厚い本の必要箇所をコピーしていると、用紙に付着している化学薬品で、指先がヒリヒリしてくるが、それでも便利な時代になったと感じていた。1960年代までは、研究者が論文を書く時には、図書館に通い、ノートに直筆で写すという作業が必要であった。本当に我々の先輩は、大変な苦勞をしたものだと思う。なお、蛇足ながら、著作物には著作権があるため、みなさんも図書館でコピーをする場合には著作権法をきちんと守ってください。

コピーが普及して、さらに普通紙を用いるようになったことで、随分と便利になったことは言うまでもない。しかし、現在のよう、インターネットが普及し、論文を書くにも、自宅にいても、ある程度まではインターネットを通

じて情報や資料を集められるようになった時代とは雲泥の差がある。当然、インターネットだけでは論文は書けないから、図書館を利用して、他の必要な情報や資料を得ることは必要であるが。

皆さんも、卒論を書くときには、こうした研究者と同じような図書館利用法を実践してほしい。それに加えて、日頃から図書館に行って、面白そうな本を探す楽しみを身につけて頂きたい。そして、その本を1冊ずつ読み切り、1冊の本を制覇したという満足感を何度も味わうという、何事にも代え難い貴重な体験をしてほしい。



## ■視聴覚資料コーナー（1階）

主にDVDやビデオがあり、その数は2015年11月現在、約2800タイトルにもなります。視聴覚資料は一度に最大5点まで借りることができ、館内での視聴はもちろん、一部は館外貸出ができ、自宅で見ることできます。各学部に関連する資料や就活に使えるものなど、学生生活を充実させる様々な資料が揃っています。



2014、2015年度で新しく購入したおすすめの資料

- ★『生活習慣病と食事指導1～10』
- ★『フード・インク:ごはんがあぶない』
- ★『ありあまるごちそう』
- ★『世界の食糧高等事情1～3』
- ★『グローバル食品企業の戦略』
- ★『偉人たちの経済学1～3』  
ケインズ、ハイク、マルクスの思想に迫った作品。合わせてこちらの図書もどうぞ
- ★『20世紀をつくった経済学:シュンペーター、ハイク、ケインズ』（ちくまプリマー新書）



### ラベルの見方



館内でのみ  
視聴できます



館外貸出が  
できます

- ★『朝日動画社:ニュース映画と朝日新聞』  
(DVD-BOX5枚組、冊子付) 210.77/A82//1
- ★『Malala: shot for going to school: 教育を求めて闘う少女』(DVD)  
『I am Malala』(CD5枚組)
- ★『I am Malala』は開架図書(3階)に原著と翻訳本も所蔵しています。原著にもぜひ挑戦してみてください。

紹介した上記視聴覚資料は、館外貸出可、授業利用可です。

## ■闘病記文庫コーナー（2階）



### 闘病記とは…

病気を治そうと闘っている患者やその家族、また支えている人たちが書いた記録です。医学・薬学の学術専門書からだけでは得ることのできない、患者や周りの人々の生の声を読むことができます。

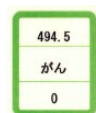
「他者の痛みを知る」「どのように病気と向き合ったのかを知る」ということは、医療従事者をめざす方だけでなく、人として大切なことです。病とともに生きる人々に本を通して寄り添い、思いを巡らせるきっかけになります。

図書のタイトルからは病名を推測できないため、病名ごとに配架されています。実際に手に取り、読んでみませんか。なお、闘病記図書は個人の体験談です。情報が古かったり、医学的に正しい内容ではない場合があることをご了承ください。

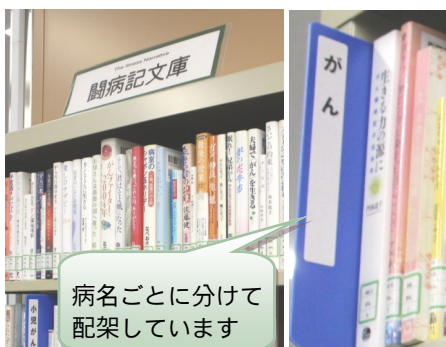
2015年11月現在、約200冊を所蔵しています。

### 主な資料

- ★『はなちゃんのみそ汁』916//がん//1
- ★『奇跡の脳』491.371//脳//23
- ★『1リットルの涙』916//脳//15
- ★『アシュリー』936//疾病//90



ラベルに病名が  
入っています



病名ごとに分けて  
配架しています



## 研究室訪問 Vol. 5

図書館では利用者の皆さんに役立つ使いやすい図書館作りを目指して、先生方の研究室を訪問し、ご要望等をお伺いしています。

大学院経済学研究科長 上山邦雄 先生 \*2015/10/2訪問

たくさんの本に囲まれた研究室にて、お話を伺いました。終始にこやかに、学生に対するアドバイスや、図書館についてのご意見をいただき大変参考になりました。その中で皆さんにぜひ知っておいてほしく、印象深かったことをご紹介します。様々な分野の入門書に、とにかく目を通し、読み通せるものは読み通す。無理だと思ったらやめて、次の本に行くというくらいの気持ちで読んでみる。その中で、自分が何に興味を持っているかに気づき、問題意識を持って考えていくこと。それが自分の学問につながるというお話をしていただきました。

図書館では学生選書で選ばれた社会系・自然系の多様なジャンルの本の展示のほか、下記のような様々な本を取り揃えています。すべて1階にありますので、この機会に手に取ってみてください。



\* 学生選書で選ばれた本はカウンター  
の前で展示中です。

\* 中央階段横の新書コーナーには  
様々な分野の入門書があります。

\* 新しい本を読むなら新着図書コーナーへ。  
教員おすすめ図書も要チェックです。



今後も研究室訪問で聞いたおもしろいお話を皆さんにお伝えします。お楽しみに。

## 学生アドバイザー通信

今回のライブラリーラウンジでは17名の参加がありました。

第6回ライブラリーラウンジ「あなたのコミュニケーションスキルって…就活で活かせますか??」



学生アドバイザー  
経営学部4年星野さん

主催者兼講師を務めさせていただいた星野です。

今回はいくつかのグループに分かれ、カードを使ったゲームを体験してもらいました。「他者に自分のカードを見せず、言葉だけで情報を伝え答えを出す。」というシンプルなルールですが、実は意外と難しいものなのです。今回の参加者は苦戦しつつも最後まで諦めず、正解を出してくれました。参加者からの感想を見て、非常に充実した会になったことを私も実感し、今回のイベントを企画してよかったと感じています。

### ～参加者の感想～

他学部の学生と関わる機会も今までなかったので、良い体験になりました。就活をこれから始めるにあたって、見知らぬ人と、会話をする事の難しさを実感しました。今後も、このような会があれば、積極的に参加してみたいと感じました。また、就活関係のセミナーや説明会などにも参加したいと思いました。

(薬学部 薬学科 5年生)

これまでにいったインターンシップで欠けていた部分を克服するために参加しました。今回の行事はとてもためになり、今後の他の行事にも参加したいです。

(経営学部 3年生)

初めて参加しました。コミュニケーション力を上げる方法楽しく知ることができ、他学部生の方とも話せて良かったです。次に繋げられるようにしたいです。

(現代政策学部 2年生)

今月開催

第7回 ライブラリーラウンジ

「人を惹き付けるコミュニケーションの心理術」12/11(金)15:10～ 参加者募集中



## 12月の展示 「企業」を「研究」する

2017年春に卒業予定の大学生の就活は、企業による選考解禁時期が2か月前倒しになる可能性があります。逆算すると、今の時期に企業・業界研究をしなければ間に合いません。そこで、今回の展示では企業研究に焦点を当て、資料やデータベースを紹介します。

## 城西大学創立50周年記念 図書館講演会 第7回地域相互協力図書館合同主催公開講座

「TPPとアメリカの世界戦略／講師：経済学部教授 庄司啓一先生」を11月25日に開催し、91名の方にご参加いただきました。関連資料を1階カウンター前で紹介しています。TPPについてあなたはご存知ですか。ぜひ借りて読んでみてください。



## 図書館サービス向上のためのアンケート あなたの意見で図書館が変わります

隔年で行っている全学アンケートを実施中です。図書館の取り組みについて意見や要望を集め、今後のよりよいサービスの提供・運営を図ることを目的としています。ご協力をお願いいたします。

【回答期限】12月24日(木)まで。

## 城西大学創立50周年記念 城西大学読書感想文コンテスト2015

部門1(中学生・高校生の部)は145名、部門2(大学生・短大生の部)は100名の応募がありました。

### グランプリ「教養によって導かれる国際性」

植田 瑞美さん(城西大学薬学部薬科学科2年)  
書名:『緒方貞子ー戦争が終わらないこの世界で/ 小山靖史 著』

### 準グランプリ「ディズニーから学んだこと」

小山 彩華さん(武南学園武南中学校2年)  
書名:『ディズニーランドであった心温まる物語/ 香取 貴信 監修, 東京ディズニーランド卒業生有志 著』

## 2015/12～2016/1月開館情報

2015年12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2016年1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

### 開館時間

- = 9:00～21:00
- = 9:00～19:00
- = 9:00～17:00
- = 8:30～21:00
- = 休館日



## 11月の図書館彙報

- 11/1 ビブリオバトル in 高麗祭を開催し、本学経済学部4年嘉藤さん、経済学部2年小川さん、現代政策学部1年佐藤さん、現代政策学部2年田尻さん、現代政策学部3年中村さんが出場し、85名の観客が投票しました。
- 11/10-12 第17回図書館総合展のポスターセッションに、「図書館で就活～キャリア支援の取り組み～」というテーマで出展しました。
- 11/13 埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALA)のOpen Library Weeksで埼玉医科大学附属図書館主催の研修会に参加しました。
- 11/15 坂戸市立図書館ビブリオバトルに本学経済学部4年嘉藤さん、現代政策学部3年 春田さんが出場しました。
- 11/22 全国大学ビブリオバトル関東地区決戦Eブロックに本学経済学部4年嘉藤さんと経営学部4年鈴木さんが出場しました。
- 11/17 平成27年度第1回図書館運営・選書合同委員会を開催しました。
- 11/23-26 就活DVD上映会を開催し、合計で23名が参加しました。
- 11/24 第6回ライブラリーラウンジを開催し、合計で17名が参加しました。
- 11/25 図書館主催講演会「TPPとアメリカの世界戦略」を開催し、91名が参加しました。
- 11/30 就活のための日経テレコン講習会を開催し、14名が参加しました。

### 高校生見学

埼玉県立ふじ野高等学校56名(11/12)、埼玉県立富士見高等学校27名(11/13)、埼玉県立草加東高等学校27名(11/13)、埼玉県立飯能南高等学校2名(11/20)、埼玉県立川越初雁高等学校35名(11/20)、埼玉県立坂戸西高等学校26名(11/27)、埼玉県立岩槻商業高等学校41名(11/30)

### 発行：城西大学水田記念図書館

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1  
TEL : 049-271-7736  
FAX : 049-286-8126  
mail : library1@josai.ac.jp

URL: <http://libopac.josai.ac.jp>  
TwitterID @lib\_josai

図書館ツイッターの  
QRコードはこちら→

